



昭和村

議会だより

第 147 号

平成28年11月16日発行



10月2日に姉妹都市 草加市で開催された「第14回草加宿場まつり」パレードの様様

平成28年第 3 回定例会

今回は平成27年度決算の審議が中心の議会でした。9月9日から13日まで、決算以外にも10の議案と1つの要望を審議しました。一般質問は9人がおこない、村政を質しました。

今後も期待に応えられる議会を目指して活動しますので、皆さまのご意見をお聞かせください。



目 次

- 平成27年度の決算を認定 …… 2
- 村政を問う …… 4
- 議案の審議 …… 14～15
- 議会活動を報告します …… 16

発行／昭和村議会

編集／議会だより編集委員会

〒968-0103

福島県大沼郡昭和村大字下中津川字中島652

☎0241-57-2198 FAX0241-57-3044

平成27年度の決算を認定

今定例会では、平成27年度の一般会計をはじめとする全ての会計の決算内容と、事業の成果が提出され、審議の結果、賛成多数で認定しました。（決算の内容は「広報しょうわ10月号」に掲載されていますのでご覧ください。）

村の財政状況を示す「健全化判断比率」も報告されましたが、村は健全財政を継続していることが確認できました。

しかし、村は収入の多くを国からの地方交付税に依存していることから、国の経済状況によっては急激に悪化することも想定されます。議会も行政とともに、社会情勢や経済情勢を的確に把握し、今後も健全な財政運営が継続できるよう努めてまいります。

	区 分	財政指数	簡 単 な 解 説
昭 和 村 の 財 政 状 況	財 政 力 指 数	0.09	地方交付税への依存の程度を示します。 「1」に近いほど財政力が強いということです。昭和村は村税の収入が非常に少なく、 <u>財政力はとても弱い</u> といえます。
	経 常 収 支 比 率	80.2	独自の施策や新たな施策に対応する余力があるかどうかという財政の弾力性を示します。 75%程度が妥当といわれています。昭和村は <u>80%を超え要注意の状態</u> であるといえます。
	実 質 赤 字 比 率	—	一般会計の赤字額の割合を示します。黒字決算であるため該当しません。
	連 結 実 質 赤 字 比 率	—	一般会計と簡易水道や下水道などの特別会計全部を合算した場合の赤字額の割合を示します。 全部の会計が黒字のため該当しません。
	実 質 公 債 費 比 率	4.4	収入金をどれだけ地方債（借金）の返済に充てたのかを示します。 18%以上は警戒値。35%以上は破綻。昭和村は <u>現段階では良好な状態</u> であるといえます。
	将 来 負 担 比 率	—	地方債（借金）の返済など将来負担しなければならない金額の割合を示すものです。現時点では <u>借金より基金（貯金）の額が多いため、指数は算定されませんでした。</u>

村税の滞納累積額が976万円に膨らむ!!

平成27年度の決算は、昭和村監査委員の意見や議会の審議においても、総体的には「良好」との評価になりました。

しかし、残念なことに個人村民税や固定資産税の滞納累積額が、平成26年度からの1年間で197万円も増加し、976万円という膨大な金額に膨れ上がりました。

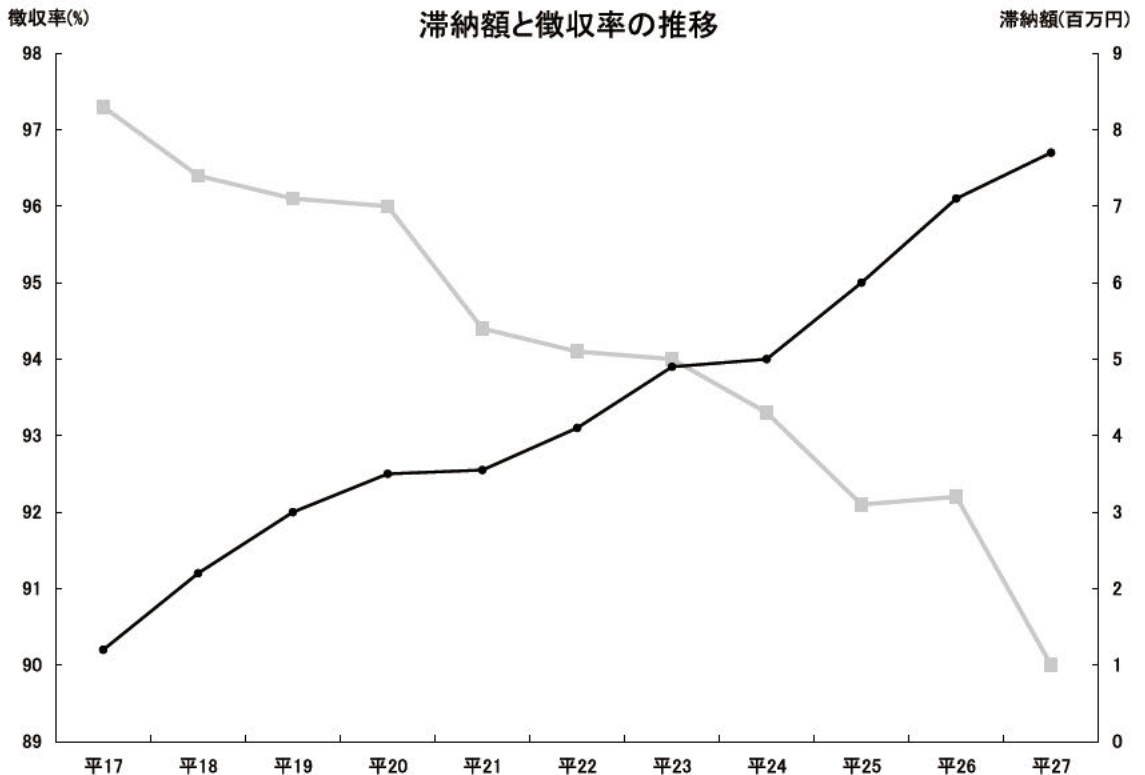
これらが回収不能になつては、公平な徴収に反することになります。滞納額を減らす早急な対策を望みます。なお、徴収率は昨年度と比較して2・9%減少の89・4%となりました。

～村税に関する主な質疑～

- 問 村税の未徴収額も増えている。今までやってきた徴収行為が、曲がり角に来ているのではないかと考えますが。
- 答 現在、昭和村収納対策計画を立て、公平公正な村税収入の確保に向け、効率的な滞納整理に努めています。



滞納額を減らす
早急な対策を!!



村政を問う

一般質問



《青木秀元 議員》

Q 意欲ある農業者・担い手対策支援事業の今後の取り組みについて問う

A 関係機関などと協議し、制度の設計をしております

問 水稲作における機械整備について、現在までの実施状況を質問いたします。

答 298万7千円の実績となっております。平成28年度は、1千500万円を予算計上し、4件が計画されています。

村長 比較的大規模に水田経営を実践されている担い手農家の支援として、平成26年度から3年間の計画で制度を創設しました。活用状況は、平成26年度が4件、補助金額702万9千円。平成27年度は5件、補助金額1千

問 本村の耕作放棄地も水田より畑地に多く、汎用コンバインの今秋の導入と合わせて、ソバ、ナタネ、エゴマなどの穀類やその他多種多様な園芸作物の導入に伴う機械整備

等に取り組まれる考えはあるか見解をお聞きいたします。

村長 平成29年度から事業の対象となる担い手農家を畑作部門に切り替える計画であり、カスミ草栽培農家や

Aの産直事業の出荷者、道の駅に野菜を出荷している方などを対象に考えています。詳細については今後、関係機関などと協議し、意見を伺いながら制度の設計をしております。



Q カスミ草栽培と青果物価格安定制度について問う

A 村の財政状況などを総合的に検討し、判断をしたい

問 カスミ草農家が安心して経営ができるよう、青果物価格安定制度の本村の取扱い予約数量75%を100%に引き上げることが最も重要と考えますが、村長の見解をお聞きいたします。

村長 平成29年度からは、新たに第14業務対象年間が始まるため、村の財政状況などを総合的に検討したうえで、交付予約数量の判断をしたいと考えています。

Q 会津地方13市町村で取り組む林業再生について、本村のとりえ方は

A 林業による収益性の向上に、つながっていくものとの期待している

問 民間と行政が連携し、県産CLT、この原料となるラミナの生産施設の整備を図りたいとありますが、本村の捉える協調とはどのようなものですか。

村長 本村においては、原料となる木材の供給地として林道などの道路網の整備や林業従事者の確保など、林業による収益性の向上につながっていくものと期待しております。

村政を問う

一般質問



《栗城敏郎 議員》

Q 観光PR活動の強化について

A 会津総合開発協議会などの広域的な組織としての取組みもあわせて提案する

問 村長は第2回定例会の行政報告の中で、来春から東武鉄道が浅草駅から田島駅まで乗り入れ計画について触れられ、これを好機と捉え、交流拡大に努める考えです。私は、これを機に本村の観光を最大限にPRするため、特急車両内に観光PRポスターを掲示し

てはどうかと考えております。村長の見解をお示しいただきたい。

村長 首都圏に対する本村のPRは、会津総合開発協議会などの広域的な組織としての取組みも、あわせて提案してまいります。

問 今後は首都圏での誘客キャンペーンを今まで以上に増やし、計画的に開催する必要がありますかと考えます。今までの商品の内容の見直しを行い、体験型・滞在型に向けた商品開発が必要だと考えます

が、村長の見解をお示しいただきたい。

村長 誘客キャンペーンのみで誘客を図っても、提供する観光商品が乏しければ観光客の増加は見込めないため、村観光協会と連携し、魅力ある観光商品の開発に向け、新たな観光資源の発掘や、自然散策案内人などの育成などに努めてまいります。

問 新たな誘客対策として、特典のついたクーポンの発行などの交通助成措置があればさらに効果的と考えますが、村長の見解をお示しいただきたい。

村長 列車を利用して会津田島駅にいらっし

やる方が本村を訪れ、周遊しやすくするための方策として、例えばレンタカーを利用して村内の宿泊施設を利用された場合は、レンタカー料金の一部もしくは宿泊料金の一部を助成するなどの取り組みを新年度から実施したいと考えています。



Q 里山整備について、将来「里」の裏山をどうしたいのか

A 道の駅の新たな魅力として整備したい

問 里山整備を、なぜ5年周期での事業とするのか。将来、里の裏山をどうしたい考えなのかお尋ねいたします。

村長 平成28年度から平成32年度まで5年間交付される福島県森林環境交付金のうちから、毎年その一部を昭和村森林環境基金に積み立て、最終年度に取り崩し財源として実施する計画です。平成32年度には、道の駅を訪れた観光客が裏山の景観や散策を楽しみ、また、美しい植物を鑑賞し、自然を感じ、癒しを与え、季節を感じる事ができるように、道の駅の新たな魅力として整備するものです。

村政を問う

一般質問



《馬場政之 議員》

Q 買い入れ原麻等の在庫量・金額について問う

A からむし原麻は194貫866匁、税抜1千716万1千524円。機械紡績糸は167kg、税抜351万6千950円となっている

問 平成26年度に昭和村振興公社より2千592万1千円の原麻、紡績糸等を織姫原材料として村は購入された。購入した織姫原材料の27年度決算における在庫高について、品目ごとの量目と金額をお尋ねします。

村長 平成27年度末における在庫は、からむし原麻、194貫866匁、税抜1千716万1千524円。機械紡績糸、167kg、税抜351万6千950円。広幅生地、248・8m、税抜190万2千240円となっています。

問 織姫の使用する材料以外に今後の用途について、いかがお考えか。

からむし振興室長 当面の予定として、からむし織体験生・研修生事業等に1貫100匁を基本に使用していく考えです。

Q 教員宿舎の整備についての所信を質す

A 様々な方策を検討しており、良質な住宅の確保に努めている

問 教員宿舎の整備については、教育環境の整備促進の施策に掲げられているが、第5次振興計画・後期実施計画にも示されておりません。村長、教育長は

教員宿舎整備についていかがお考えか。

教育長 村として教員住宅の新たな整備のほかにも様々な方策を検討しており、一昨年整備した単身者用の村営住宅には教職員の方々にも入居いただくなど、良質な住宅の確保に努めています。

Q 村の振興と活性化の充実を問う。(旧喰丸小学校)

A 安い金額でハイメルの上映は可能である

問 村長は「村内で営利を目的としないハイメルの上映ができないか。」という同僚議員の質問に対し、「村内の上映は、誘客にも

有効である。著作権の関係などから関係者と協議し、調整を図っていききたい。」と答弁されている。村では、関係者と協議・調整は図られたのか。その結果についても併せて質問いたします。

村長 映画製作会社に確認したところ、村で非営利で上映したい場合は、著作権の関係から、無償では出来ませんが、安い金額で上映することは可能であるとの回答を得ています。



村政を問う

一般質問



菅家敏章 議員

Q 旧喰丸小学校復元改修進捗状況について、周知はしているのか

A 8月31日付けで、回覧文書を村内に配布した

問 進捗状況を随時村民に周知すると言いましたが、周知しているんですか。

村長 進捗の状況については、8月31日付で回覧文書を村内に配布しました。

問 耐震診断と耐震補強をいつ実施するのかお伺いいたします。

村長 6月の時点では、耐震診断を実施する予定でしたが、県会津若松建設事務所と打ち合わせをした際に、法令上、耐震診断の実施は必須ではなく、どのように安全を担保するかが重要であることから、設計に耐震補強を組み込み、耐震性を高めるように設計し、改修してはどうかとの助言をいただいた。検討した結果、耐震診断

は実施せず、設計の中に耐震補強を組み込んで、建物の安全性を確保することになりました。

Q 空き家バンクの活用について、その後の進捗状況は

A 利活用について賃貸契約が1軒あった

問 4月以後、空き家バンクは3軒が登録希望、改修援助金は1件相談を受けていると答弁ありましたが、その後の進捗状況をお伺いいたします。

村長 空き家バンク登録件数に増減はありませんが、利活用について賃貸契約が1件、改修援助金の申請が1件ありました。

問 提言したいと思いますが、物件、住所、金額等をネットに載せればかなりの反響があるのではないかと思われませんが、その辺はどのようにお考えですか。

総務課長 防犯上の観点から、ネットでの公表は現在では見送っています。



Q 昭和村にもFMラジオ中継局の設置を

A 今後、条件が整えばラジオ放送の難聴解消に向け整備を図る

問 昭和村でも、安心・安心のために、いつでもどこでもラジオが聞けるようにすべきと思うが、村長のお考えをお伺いします。

村長 本村を含む南会津町や只見町、桜枝岐村がラジオ福島やFMふくしまの放送区域外であることが確認できたため、現在の制度下では中継局等の整備に取組むことができないことから、本年度のラジオ電波受信状況調査を見送ることにしました。今後、国の制度改正の状況を注視し、条件が整えば、ラジオ放送の難聴解消に向け整備を図ってまいります。



村政を問う



《馬場栄三 議員》

Q 年間出生数1桁、行政の対応は

A 夢見る若者応援事業の二次募集を行い、新たな視点・発想を持ってご提案いただきたい

問 今後、出生数も大変少なく懸念されるわけですが、この事実、学校運営にとどまらず、地域の不活性化、衰退などにつながる重要な問題と受け止めております。これについて、長のご認識を伺います。

村長 この人口減少は、地域コミュニティ機能に与える影響が大きいく、隣近所で助け合う共助機能の低下を初め、地域の歴史や伝統文化である各種行事の中止、また、消防団員の減少による地域防災力の低下、さらに、生活関連サービスである小売店の営業廃止など

地域の支え合いや賑わい、地域の魅力まで低下してしまう恐れがあり、また、農業の産地維持など幅広い分野において重要な問題であると認識しています。

問 出生数が低迷している理由として、結婚する方々、カップル数の誕生が大変少ないからであると考えます。予算化を図り、若者が出合い、結婚をサポートする体制づくりが求められているのではないかと考えますが、長のお考えを伺います。

村長 出合いの場が身近になれば結婚にも至りませんので、村内の若者の活気が出る活動に対して村が支援していくことは、大変重要であると認識してい

ます。その取り組みの一つとして、今後、夢見る若者応援事業の二次募集を行いますので、新たな視点、発想を持ってご提案いただきたいと考えています。

Q からむし事業、個人・団体活動のサポート、連携は

A 今後の検討課題であると考えている

問 今年度より、からむし事業のより積極的な普及推進を目的に、からむし振興室が設置されました。からむし保存協会、振興公社、からむし振興室が相互協調により一層の普及促進がされるものと期待しております。一

方、忘れてならないことは、個人・団体で活動されている方々の熱い思いがあることであります。個人・団体の活動をどうサポートし、どう連携されているか、長のお考えを伺います。

村長 個人・団体の方々が、本村の宝であるからむしを利用され、作品づくりなど熱心にされていることは既に承知しております。しかしながら、規模や形態も様々であり、実態等の把握について現段階においてしきれておりません。活動の目的や事業内容等を伺ったうえで、今後の検討課題であると考えています。

村政を問う

一般質問



《栗城徳雄 議員》

Q 「姉妹都市 草加市」との今後の交流について、どのように考えているか

A なお一層強固な姉妹都市関係を築いてまいりたい

問 今までは、フェア開催時のしらかば荘への宿泊は草加市優先で対応されていました。つまり、イベントに参加される姉妹都市の草加市民に対し配慮してきたわけでありますが、今回の宿泊は申し込みの先着順になり、草加市からの参加者の方々は宿泊できません

でした。村長は、先着順にされたことをいつ知りましたか。また、先着順でよいと思っておりますか。

村長 草加市役所職員や地場産業協議会の方々が予約できなかったことは、7月19日に知ったところです。通常、宿泊施設や飲食業では、予約の受け付け

は先着順が一般的であり、しらかば荘についても同じように対応することが普通であると考えます。しかしながら、毎年、からむし織の里フェアでは多くの草加市役所職員や地場産業協議会の方々が宿泊をされていた実績を考えますと、配慮が十分でなかったものと受け止めております。

問 草加市の市長さんは、宿泊する予定で昭和三村へ来られましたか、予定を変更され、その日のうちに帰ってしまったわけでした。この事実を村長はいつお知りになりましたか。また、何らかの対応はされましたか。

村長 草加市長に於いては、公務の都合に

より日帰りで帰られると当日お伺いしたところですが、市長の公務日程の話でありますので、お忙しい中遅くまで本村に滞在していただきましたことに感謝申し上げます。

問 フェアに参加された草加市の方がしらかば荘へ泊れなかったことについては、今までの経過から考えますと、草加市長や草加市民が優先されるべきであると考えます。しらかば荘も村が出資しております。公社として管理料も払っております。村の考えを公社も配慮すべきであると思えますが、あくまでも公社は独立し、村の意向は関係なく運営するのであると思えますか。

村長 からむし織の里フェアの際には、草加市長を初めとしたご招待を申し上げた方々には、本村側で宿泊場所の確保についても十分配慮し、気持ちよくお泊りいただくべきであろうと考えます。

問 今まで以上に交流をしていただけるようにと私は願っておりますけれども、村長の今後の考えをお伺いします。

村長 交流を通じながら、なお一層強固な姉妹都市関係を築いてまいりたいと考えています。



村政を問う

一般質問



《渡部節雄 議員》

Q からむし製品を伊勢神宮に奉納する交渉経過について、いつ交渉内容を村民に公表する予定か

A 村から公表できる内容はありません

問 6月議会で、公表できる段階でないと聞いたのは、どういう意味でしょうか。からむし振興室長からの報告もあり、今日になって、これは村は関知しておりませんというのをおかしいのでは。

村長 昭和村振興公社のほうに、お話があったということでありますので、その点を考えた答弁であります。

問 振興公社の社長として、この契約が出来た場合のリスクと障害をお聞きします。

村長 同一人物であります。この議会の場においては村長の立場ですので、その点において答弁させていただいている。

問 納入契約を結ぶ前に、議会の承認は必要とお考えでしょうか。

村長 振興公社の事業活動として、振興公社の判断により行われるものであり、手続きとして村議会の事前承認を要しないものと理解している。

問 契約を結んだとの発表があった、からむし保存協会の臨時総会の席には、副村長、振興室長、教育長がおられました。これでも村

は関係ありませんという事ですか。

副村長 契約が決まったという趣旨ではなく、式年遷宮に物を納めるといふ正式なお話を頂いたといった趣旨でした。

Q 7月のからむしフェアの際、草加市長が急遽予定を変更されて、宿泊せず帰ってしまつた事態を村当局はどう受けてつておるのか

A こういう事態が起こつたことは、大変遺憾であると思つてい

Q 6月議会で、昭和村振興公社について、一つ一つ課題を改善して行くことが責任を果たす事につながるのと答弁がありました。その課題についてお聞きする

A 課題があれば丁寧に解決に当たります。財政的な問題と云うのが一番の課題であると思



村政を問う

一般質問



《菅家一博 議員》

Q ふるさと納税の取り組みについて、その後の取り組み状況や反響は

A 納税者が返礼の品物を選べるシステムの導入などについて、協議、検討を進めている

問 3月議会で取り上げたふるさと納税の取り組みについて、その後、進み具合がどの様になっているのか。また、その反響などがどのようにになっているのか。さらに昭和村独自の返礼品など、どのようにお考えか、お伺いします。

村長 本年度から、納税額の半額を目安に、村の特産品や特別栽培米等を組み合わせた返礼品を発送しています。現在、さらなる制度の充実及び情報発信の拡大に向け、寄付額に応じ、納税者が返礼の品物を選べるシステムの導入及びふるさと納税に特化したインタ

ーネットの運営サイトの構築について、協議、検討を進めています。

問 寄付金の活用を希望する事業に旧喰丸小学校が書いていない。満額になりましたというような域まで取り組んでいただきたいが、その辺どうでしょうか。

総務課長 今現在、設計関係を進めており、それを用途に、使途から改修費用幾らかかりますので、ご寄付をお願いしますというような公募をかける予定で動いています。

問 意気込みを示すのであれば、1人の人が専業で1億ぐらい集めてもらうという気構え

でやっていただかないと意味がない。決意をお願いしたい。

村長 そこまでの取り掛かりの姿勢は、昭和の職員の体制において厳しいと思います。

Q 「からむし織の里しようわ」イベント広場の利用について、常設ステージ及び倉庫の設置は実現できないか

A 常設のステージは設置しない。また倉庫は、建設することができません

問 イベント広場のさらなる有効活用のため、常設ステージ及び

倉庫の設置は実現できないでしょうか。数多くのイベントが行われているが、効率的な運用ができないことや、スタッフの負担軽減にもつながるもので、お答えを願いたい。

村長 からむし織の里フェアや雪まつり以外にも、様々な団体や個人が催し物を開いております。そのため、常設のステージを歳時記広場に設置してしまいますと、ステージを必要としない催し物の場合には、逆に利用しにくくなってしまいますので、常設のステージは設置しない考えです。また、倉庫については、場所の確保が難しく、建設することができません。

村政を問う

一般質問



《東原源伯 議員》

Q 村指定の文化財の保全と管理の進め方、広く観光客に利便性を図る考えは

A メリット、デメリットを踏まえ検討します

問 天然記念物や有形文化財について、それぞれ由緒等の看板等は設置されております。国道から少し入った場所にある村有形文化財、具体的には大島氏の碑、さいかちの木等、所在地の案内板を国道等入り口に設置し、広く観光客に利便性を図るお考えを伺います。

【教育長】 天然記念物や有形文化財について、広く観光客の利便を図ることは、交流人口の拡大に効果があるものと考えます。国道等への案内表示板の設置は、村の魅力の一つである景観への影響も考慮しなければならぬことから、文化財等に係る観光客への情報提供の方法については、

メリット、デメリットを踏まえ検討します。

Q 矢ノ野湿原の環境整備を

A 土地所有者の考えも尊重し、お互いの利害の折り合いをつけながら、保全と活用を図る

問 北湿原の区域の特定または植生調査により、どこにどのような植物が生育しているのか、または、その生えている密度はどのようになっているか、図面上に記入した、いわゆる植生図の作成が基本となります。作成するお考えを伺います。

【教育長】 矢ノ野湿原の、いわゆる北湿原は、こ

れまで人の手を入れずに環境の保全を図ってきました。これまでの経過を踏まえ、様々な観点から慎重な検討を要するものと考えています。

問 矢ノ野湿原の監視パトロールは、福島県自然環境保全地域に指定されていることから、県によるパトロールに加えて、村でも新たにパトロールを実施すると聞きました。立ち入り区域等の設定も視野に、保全管理のあり方を検討するお考えを伺います。

【教育長】 村による矢ノ野湿原の監視パトロールは、盗掘防止をはじめとした湿原の環境保全の一層の推進を目的に平成27年度より実施

しています。多くの人に湿原を訪れてもらい、希少なまたは学術的に価値の高い自然環境に接して理解を深めてもらいたいという考えもあるため、立入禁止区域の設定は、慎重に検討すべきものであると認識しています。当面の保全管理のあり方は、マナーの徹底、啓発の強化に努め、保全と活用のバランスを取りながら対応していきたい。



行政報告

行政の執行状況

定例会初日には、行政の執行状況（9月9日現在）が村長から報告されました。

①防災関連

7月31日に会津坂下町において、第40回福島県消防操法大会両沼地方予選会が開催され、昭和村消防団第一分団が本村の代表として小型ポンプの部に出場し、準優勝という輝かしい成績を収められました。



②からむし関係

後継者育成として技術水準の向上に特化した、糸づくり研修生事業として、現在までに5名の方が糸績みの後継者として研修に入りました。

③保健・医療関連

8月3日から4日間の日程で総合検診が実施され、国民健康保険被保険者などを対象に220人が受診され、受診率は例年並みの58%になりました。

④稲作関連

水稲の生育は平年並みに推移しています。今年も放射性セシウムに関する全袋検査を実施します。

⑤花き関連

カスミノウの生育状況は、本年も病害虫に対する防除技術

の提供を行ってきた結果、8月23日現在の出荷数量及び販売高は昨年を上回り、345万円増の1億9千500万円となりました。大手スーパーで催事を開催するなど、生産者団体などと協力して販売促進に取り組んでいます。また、今年も昭和中学校3年生が「大田市場」で産地のPRを行っています。さらに、新規就農者の確保対策として、大学生などを対象とした農業インターシップ事業「かすみの学校」については、東京農業大学の学生7名から応募があり、実施しています。

⑥原発事故災害関連

アスパラガス、キヤベツ、キュウリ、小松菜、ジャガイモなどの野菜や、水道

水からは放射性物質は検出されていません。しかし、林産物の野生キノコが出荷停止の指示を受けていることから、品目毎の出荷制限解除に向け、今年度もマイタケやマツタケなどの品目を定め、モニタリング検査に取り組み計画をしました。

⑦観光関連

7月に開催した「からむし織の里フェア」は、天気にも恵まれ、二日間で5千300人の来場者をお迎えしました。また、7月下旬から8月上旬にかけて、草加市の小学校3校より、合計324名の児童及び教職員が自然教室のため本村を訪れました。次年度以降も継続して実施される見通しです。旧喰丸小学校の改

修に関する進捗については、7月15日に改修工事の実施設計業務を発注し、打ち合わせを重ねています。

⑧工事関連

村道の新設及び改良工事等については、工程どおり順調に進捗しています。小学校トイレ洋式化改修工事は、学校の夏休み期間内に工事が完了し、8月16日に供用を開始しました。

⑨社会教育・体育関連

7月の県民スポーツ大会両沼大会では、家庭バレーボール及び壮年ソフトボールが、全力のプレーで健闘する姿を見せました。「お盆の成人式」では6人が新成人になりました。女性3人は「からむし」の着物を着て式典に臨んでいます。

議案の審議

9月定例会で審議した議案の結果です。(審議した順番に掲載。)

議案名	議決結果	賛成	反対
平成27年度昭和村歳入歳出決算認定について [賛成討論の要旨] ・ 厳しい財政状況の中で単独経費の抑制に努め、住民が必要としている事業を選択し、振興計画の確実な実現のために予算執行がなされ、効果的な運用に努めていると判断し賛成いたします。 ・ 予算の執行状況は各款とも違法性や不当な支出が認められず、予算もその目的に合致するよう執行され、効率的に運用されている。村長はじめ、職員が一丸となって事業推進に当たられ住民の福祉向上につながったものと認めます。	認定	7	2
昭和村税条例の一部を改正する条例 (地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の条文を改正するものです。)	可決	9	
昭和村国民健康保険税条例の一部を改正する条例 (6月2日を基準日とする本算定後に、新たな所得データが加算されたことにより所得基準額が大きく増加したことから、適正税額に更生するため、国保税率を再度改正するものです。)	可決	9	
平成27年度昭和村一般会計補正予算(2号) (印刷機リース料、役場暖房用地下燃料タンク撤去工事費、矢ノ原湿原公衆トイレ解体撤去工事費、松山地区及び中向地区消火栓修繕費、旧小野川分校プール解体工事費、健康増進施設床改修工事費などを追加するもの。)	可決	9	
平成27年度昭和村国民健康保険特別会計補正予算(2号)	可決	9	
平成27年度昭和村簡易水道事業特別会計補正予算(2号)	可決	9	
平成27年度昭和村介護保険特別会計補正予算(2号)	可決	9	
教育委員会委員の任命について 本名 敬氏を再度任命するもの。	同意	9	
昭和村固定資産評価審査委員会委員の選任について 五十嵐好夫氏を再度選任するもの。	同意	9	
昭和村固定資産評価審査委員会委員の選任について 栗城佐知夫氏を再度選任するもの。	同意	9	
健全化判断比率及び資金不足比率の報告について(報告)	—	—	—
[議長提出] 昭和村議会改革特別委員会の設置について	採択	9	
昭和村議会議員定数削減要望書(要望者:議員定数削減を要望する会) ※昭和村議会改革特別委員会に審査が付託され、平成29年第4回(12月議会)までの継続調査となりました。	継続	9	

※議長は採決に加わりません。

議案の審議

第2回議会臨時会の議決結果

7月19日に臨時会が開かれました。審議した議案とその議決結果です。

議案名	議決結果	賛成	反対
医療機器購入契約の締結について	可決	9	
農業用機械購入契約の締結について	可決	9	

※議長は採決に加わりません。

昭和村議会改革特別委員会 設置

9月13日の本会議において「昭和村議会改革特別委員会の設置」が可決されました。本会議終了後、委員会を開催し、互選により正副委員長を選出しました。特別委員会の構成（議員全員が委員に指名）は次のとおりです。

◎委員長	菅 家 敏 章	委 員	栗 城 敏 郎
○副委員長	馬 場 政 之	委 員	馬 場 栄 三
委 員	栗 城 徳 雄	委 員	菅 家 一 博
委 員	渡 部 節 雄	委 員	東 原 源 伯
委 員	青 木 秀 元	委 員	五十嵐 勝

今後特別委員会では、付託された「昭和村議会議員定数削減要望書」について、平成29年11月末までに調査・研究し、その審査結果を平成29年第4回定例会（12月議会）で報告することに決定しました。

特別委員会ってなに？

- Q 9月13日の第3回定例会本会議で、「昭和村議会改革特別委員会の設置について」がありましたが、「特別委員会」とは何ですか。
- A 常任委員会の所管に属しない特定の事件または議会において特に必要と認める事項の審査または調査をするために、必要のある都度、議会の議決によって設置されるものです。



※ 本会議での議員の質問や質疑、村長等の答弁の内容を詳しく掲載した「昭和村議会会議録」が議会事務局でご覧になれます。なお、注意していただく点などもありますので、議会事務局（電話57-2198）へお問い合わせください。

議会活動を報告します

常任委員会の 行政調査報告

◎調査目的

公共交通システム、広域観光、グリーンツーリズムなどの調査をすること。

◎調査期日

7月25日～27日

◎調査先

長野県小川村、長野県飯山市

◎調査派遣議員

議員全員10人



公共交通システム

◎長野県小川村役場

広域観光

◎飯山駅観光交流センター



グリーンツーリズム

◎なべくら高原森の家



施設運営

◎道の駅「花の駅・千曲川」



以上が今回の視察・調査箇所の概要です。昭和村の置かれた条件とは様々な違いはありますが、小川村役場の総合戦略推進室の高山主任、飯山駅観光交流センターの荒木所長、なべくら高原森の家の高野支配人などから、今後の昭和村の振興に大変参考となるヒントをいただきました。

● 第4回定例会のお知らせ ●

第4回定例会は12月9日から13日までの期間で開催の予定です。一般質問は12日の予定です。村民の皆様、ぜひ傍聴においでください。

編集後記

地球温暖化の影響なのか、北海道や岩手県をはじめ、全国各地で記録的な豪雨による大きな災害が発生しております。

本村では、昨年のような大きな災害もなく、稲作においては、夏期の好天に恵まれ「やや良」の豊作で、秋の取り入れも終わることができました。

さて、九月開催の第三回定例会には、多くの方に傍聴にお願いいただき、ありがとうございました。

十二月定例会にも多くの方にご来場いただき、村政と議会活動にご理解を深めていただければ、幸いに存じます。

(五十嵐 勝)

編集委員

委員長 栗城 徳雄
副委員長 渡部 節雄
委員 栗城 敏郎
委員 馬場 栄三
委員 五十嵐 勝